

令和5年度（2023年度） 第1回  
横須賀市国民健康保険運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和5年（2023年）8月14日（月）  
午後1時30分～午後2時30分
- 2 開催場所 301会議室
- 3 出席者名  
【委員】 岡 昌憲、田丸延夫、小澤アヤ子、織田俊美、  
鈴木博美、長嶋洋一、沼田裕一、半澤栄一、  
川名理恵子、高橋ゆきえ、内田 明  
（敬称略）＊16名中11名出席  
【事務局】 夏目健康部長  
外10名  
【傍聴者】 0名

4 会議内容

はじめに、横須賀市国民健康保険運営協議会規則第2条の規定に基づき、会長に岡委員を選任。岡会長が議長となり、会議録署名委員に高橋委員及び内田委員を指名し、会議次第に沿って議事に入った。

**議題1. 令和4年度特別会計国民健康保険費決算（案）について**

資料により事務局（驚阪課長）が説明した。

**質疑応答等**

（川名委員）

昨年度の補正で基金に3億円ほど積立て、今年決算でその数字が出たと思います。以前伺った時は、基金の積立は基本繰越すこと、また前年度の保険料の調定額の5%以上を持っていないと県の評価が下がるからそれを確保するためだと聞きました。

今回この積立により、評価額は十分保っていただけるのでしょうか。またこの5%とはいくらですか。今後一般会計からの繰入と基金の積立の必要はなくなりますか。

（事務局）

基金には、補正で3億1,600万1,000円一般会計から繰入をして積み立てました。その時点で基金に1億円積立がありましたので、

合計4億1,600万円ある状況です。保険料を年間約2,500円程度、毎年上げる計画をしていますが、保険料の上り幅を抑えるために10億円程度を投入する必要があります。欄外にある通り、繰越金が7億7,000万円ですので、基金を一旦取り崩して、10億円との差分を投入します。しかし基金を取り崩すと県の評価点を得られないため、その分は一般会計から基金に積むことを話し合いしている途中です。

(川名委員)

基金の取り崩しと一般会計からの繰入れを繰り返さなければ危険な状況ということでしょうか。

(事務局)

現段階では、そうです。

(内田委員)

以前、繰入金は保険料のために使っていないと聞いていましたが、今は基金の関係で使っているということでしょうか。

(事務局)

そうです。繰越金が目減りしてきてしまったので、そこを埋めるために一旦基金の方に積んで、それを取り崩していきます。

(内田委員)

それは今後も増えていく可能性がありますか。

(事務局)

はい。現在の年間平均約2,500円ずつ保険料を上げるのでは、投入額は増える見込みで、保険料の上げ幅も上がる可能性があります。保険料が上がりすぎないように、皆さんが耐えられる金額を検討しています。

(内田委員)

将来的には県統一の保険料になるかと思いますが、その数値と今ではだいぶ差がありますか、それとも県に近づいていますか。

(事務局)

県の方も保険料の適正額が見えていないため、県内市町村の意見を受けて、保険料に係る納付金が上がりすぎないように、県も基金を投入するなど調整を図っています。そのため、うちがどのくらいの位置なのか、わからない状況です。

(内田委員)

被保険者の税金も基金の繰入金のために投入がされているということになってしまいますよね。今後はそこを使わないようにしていかなければなりませんね。

(事務局)

おっしゃる通りです。

○その後、質疑なく議題1について了承された。

## 議題2. 国民健康保険第3期データヘルス計画について

資料により事務局（出石課長）が説明した。

### 質疑応答等

(川名委員)

第3期データヘルス計画策定の基礎資料は第2期の総括でもあるというお話でした。第2期では目標が3つ挙げられていたと思います。特定健診受診率37%以上についてはかなり下回っている。特定保健指導実施率23%も10%以下であるのは、コロナの影響もあると思いますが、かなり低いと思います。

高額レセプト数を減少させるという目標について、データはどこにありますか。1000人当たりというのは一年間の平均ですか。

(事務局)

ご指摘いただいたところにつきましては、今は提示できる状況ではございません。令和2年度に中間分析を実施した時点ではおおむね目標を維持できていると出ております。今年度行っている分析につきましても、もう一段分析を進めたうえで総括を行い、次期計画の策定を進めていく予定としています。

(川名委員)

ジェネリックは80%を超えており、数字で見ると優秀で、自治体の上位1割に入るといっていますが、今の段階で上位1割に入っているのでしょうか。他都市も高くなっているのでしょうか。

(事務局)

確認でき次第ご報告いたします。

(川名委員)

高額レセプトの内容を見ると、悪性新生物が1番件数としては多いという表記がありますが、第2期の計画では、第1位は腎不全ではありませんでしたか。

(事務局)

中間分析時の50万円以上で出した結果は14ページに出しています。特定健康診査は、主に生活習慣病を予防・早期発見していくことに重点を置いた健診です。50万円以上の高額レセプトだと生活習慣病が見えてこなかったため、今回の分析では15ページの通り、30万円以上のレセプトも分析をしました。

(川名委員)

第2期では50万円以上の1位が腎不全とあったように思いました。

(事務局)

いいえ、第2期の時も悪性新生物は50万円以上でしか載せていなかったです。

(川名委員)

高額医療費の現状ということで、データヘルス計画の概要版を見していますが、被保険者ごとに同一疾患でかかった医療費の合計が年間50万円を超える疾病別人数を見えています。30万円ですと生活習慣病ということですね。ありがとうございます。

(高橋委員)

11ページの疾病大分類別の表について、これ以上の分類はありませんか。

横須賀市は周産期死亡率が高いといわれ、医療費で見ると全体で占める割合が高いと思います。先天奇形も周産期と絡みがあると思

うのですが、他都市と半年や一年で比べるとどうなっているのかが見えてくると思います。

(事務局)

医療費の分類につきましては、横須賀市国民健康保険のレセプトデータをもとに製作しているものになります。そのため、他都市が同様な分類で公表されていれば比較ができますが、全国的にこれを一貫して活用しているものではないため、比較が難しいです。

(高橋委員)

人工透析の医療費が高いことと患者数の増加は昔から言われていると思います。横須賀市の国保の患者さんの中で透析患者が比較的全体で多いのは、医療状況が大きく影響していると思います。透析できる医療機関がエリア的に多いのでしょうか。

(事務局)

多いかどうかはお伝え出来ませんが、今回の計画手段のところでは、CKDという国保の高齢者の方も含めた腎臓病への取り組みという点で、市内の医師会の皆様や中心的な総合病院の先生方にご協力いただき、連携をとって、早期発見・早期治療につなげるような仕組みを実施しています。この点で、横浜市大学先生等々から、横須賀市は積極的に取り組んでいるとお言葉も頂戴していますので、横須賀市内の健康に関する先生方のネットワークで、ブラッシュアップして運用できるよう取り組む所存です。

(高橋委員)

透析の医療機関の数が多いか少ないかについては、特にないということですか。

(事務局)

おっしゃる通りです。

(高橋委員)

糖尿病のバックにアルコール問題も大きく絡んでいるのではと疑問を持っていますが、この辺りは何か得られていますか。

以前、障害手帳を持っている方の診断書の分析をしていた時に、糖尿病、アルコール問題が浮かび上がってきましたので、気になり

ました。糖尿病の予防につなげることや、精神疾患の医療費もアルコール問題と絡んでいるのかなと思いました。

(事務局)

アルコールに関しては今回のデータでは取り上げていませんでした。ご提案いただいた視点での考えも取り入れられるようであれば考えていきたいと思います。

(沼田委員)

感染症以外での人類の死亡率に関係しているのは、がんでも肥満でもなく、1番目は高血圧、2番目は喫煙、そして3番目は糖尿病にも関する高血糖、4番目は運動不足が原因です。ここを抑えることが生活習慣病対策として一番大事です。高橋委員のご経験でアルコールが関係しているというのは貴重な意見ですので、検討していただきたいと思います。

アルコールは、日本人でも20-30g毎日とることは非常に健康に良いと世界的に認められた情報です。保健事業で重要視されているのが運動と食生活で、高血圧や高血糖は塩分や糖分を含むカロリーの過剰摂取ですので、こういったものを含めて保健指導の充実・周知が一番効果的で大事だと思います。

(事務局)

貴重なご意見ありがとうございます。

(川名委員)

高額レセプトについて、第2期データヘルス計画で、高額レセプト発生件数は、慢性腎不全が最も多く、高額レセプトの3.1%を占めており、約2億円の医療費がかかっているという記載がありました。変わったということですか。

(事務局)

この結論を導き出した時のレセプトの分析結果によると記載の通りです。その後、年数が変わるとどの疾病が大きな割合を占めているのかは変わってきたという結果が、今回の分析結果になると判断できると思います。

(川名委員)

そうなんですね。変わったのか伺ったときどこに書いてあったかわからなくて。慢性腎不全・腎不全の高額は落ちてきたということ、30万円じゃないと出ないということですか。

(事務局)

一概に言い切れるかどうかですが、今回の基礎分析では30万円以上で出てきて、50万円をこえるケースは出ないと結論が見えました。

○その後、質疑なく議題2について了承された。  
本日の全ての議事は終了したことを議長が宣言し、閉会した。